

リポートニュース

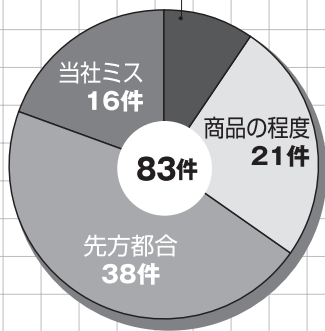
平成20年10月号 No.77

ガソリン価格の高騰は、生活不安を煽り、自動車離れを引き起こし、新車販売台数の長期減少傾向に歯止めが掛からず、中古車の動きも追隨して悪化をたどり、当然ながらBS様の車両入庫数も減少して、補修マーケットの受注も極端な減少を示しております。

輸出市場に於いても、期待するロシア向け輸出は、円高ドル安の影響でオーダーストップが続いている状況です。リサイクル部品業界が経験したことのない未曾有の状況に突入したことは間違いありません。残念ながら突破口が全く見えておりません。

前月のクレーム 集計報告

運送会社ミス 8件



●自社主力商品別クレーム (輸出販売はノークレームのため対象外です。)

商品別クレーム	件数	クレーム率	内 訳
バンパー	3件	3/1019 0.29%	パテのハガレ 2件 パテに巣穴多数 1件
フード	1件	1/336 0.30%	ダンパー取付部折れ 1件
フェンダー	5件	5/918 0.54%	プレスライン下歪み、左前アーチ部分波打ち、傷多い、寸法合わない、手間がかかる 各1件
ライト類	12件	12/1722 0.70%	光軸きかない 6件、水漏れ 3件、取付ネジ部分一部欠け、レンズ内側コーティングむら、AFS不良 各1件
トランク・ドア	0件	0/82 0%	
計	21件	21/4077 0.51%	

(自社のクレーム発生率 0.75%以内を目指しています。)

※確かな部品をお届けするためには、車検証情報と現車の特別仕様情報が必要です。

受注、管理ミス例の内訳

車名・型式・年式	部品名・グレード	クレーム内容	対 応
テリオス J102G H13.4	左ライト CX	現車は中黒でした	テリオスは中黒のみと設定だと把握していなかった為、中メッキを解答し出荷してしまった。テリオスは中メッキ使用はありません。
プレサージュ TNU31 H16.8	右テール ライダー	STDタイプの赤色が届いた	クリアタイプのテールはOPTの設定であると、間違った情報を覚えていました。全く逆の認識をしていました。
ウイット GD1 H18.7	左FDア STD	サッシュの高さが低いフィットアリアのドアが届いた様です	ウイットGDIの方が、サッシュの高さのみ5cm位フィットアリアのドアよりも高いのがわかりました。同じミスが起きないようにサッシュの長さを測り、登録します。
Kei HN22S H17.5	左ライト A	先方はレベ無し用の為、ウインカーのソケットの大きさが違うので取付かない	年式的にはレベなし用であったがレベあり用でも取付に問題はないと判断し、レベ用を送った。(Keiのソケット部分はH18.4~で変更されていました)

メタボ対策

元旦に『商売繁盛』のお札を頂きに出かけた時に、高尾山健康登山のお札が頂けます。薬王院横の掲示板には1~100回の満行を達成した人たちの名が木札に書かれています。なんと100回を達成した方が3名もおります。4月から始めた健康登山も5回を数えました。定期健康診断の結果でも若干中性脂肪が改善されているようで、早くもご利益が出てきたようにも思えます。登山は最も効果的なメタボ解消運動と改めて認識しております。

自動車リサイクル推進「チラシ」配布いたします。

経済産業省・環境省がエンドユーザー向けに作製した自動車リサイクル推進チラシが若干残っております。

ユーザー向けの情報として受け付けカウンターに置かれるのに最適かと思えます。ご希望の方はフロントにお話ください。



ヘッドライト「液だれ」のリサイクル・ご意見をお待ちしております。

リノベートニュースNo63号で報告いたしましたヘッドライトの「液だれ」が駐車している現車にも時々見受けられます。しかし一見、目にした限りではどこに「液だれ」が発生しているのか？分からない程度のもので。

当社の品質基準では「液だれ」がレンズ表面に発生したヘッドライトはほとんどがスクラップになります。もしユーザー様が「気にならない」といった反応をもっておられるのであれば、当社の品質基準を条件付きで緩和し、特別採用品として『液だれ』の部分はそのままにしてリサイクル作業を行う事で、数少ないパーツを有効に供給できると考えております。皆様のご意見をお待ちしております。

※ 解説 「液だれ」とは…ヘッドライトのレンズ内側に白く蜘蛛の巣のように発色した現象を通称「液だれ」と呼んでおります。液だれの原因は、レンズとライト本体を接着するコーキング材の油分が高温で蒸発してレンズ内側に付着したものでないか？…といった当社の推測です。

純正ヘッドライトのバーナー販売開始

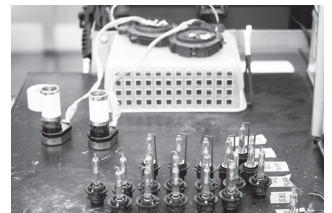
純正ヘッドライトに使用されているバーナー(ディスチャージ用バルブ)を販売開始しました。

お客様からの情報として形状、製造メーカー名が必要になります。

- 形状 (D2S D2R D4S D4R)
 - 製造メーカー (OSRAM PHILIPS KOITO)
- 上記情報の確認ヶ所は添付写真を参考して下さい。

注意事項 ● 製造メーカーについては異なってしまっても使用上の問題はありません。

● 形状については「D2」系と「D4」系とは電圧が異なり「S」と「R」で取付部の形状が異なりますので、必ず3つの文字を合わせる必要があります。



点灯試験